



目標・希望・友達

令和7年7月18日  
長崎市立女の都小学校  
校長 佐藤 和幸

学校の学級園には、3年生が育てているヒマワリが大きな花を咲かせています。今日で第1学期が終わり、明日からは長い夏休みに入ります。これまでの終業式の日と違って、子供たちは通知表を持ち帰っていません。前期の評価として、9月下旬に渡す予定となっています。

子供たちには夏休みの暮らしの決まりや宿題、絵や読書感想文等の自主的に応募する作品についての指導をしています。長い休みだからこそできる取組にチャレンジさせてみてはいかがでしょうか。この1学期の間、保護者の皆様には、多くのご支援やご理解を賜りました。本当にありがとうございました。



## 第1学期終業式 校長の話

今日は第1学期の終業式です。4月に入学や進級をした皆さんが、この4か月ほどでできるようになったことや分かったことを振り返ってみてください。国語科や算数科などのお勉強ではどうですか。当番活動や係活動ではどうですか。学校の決まりを守ることはできていますか。自分の目標である「なりたい自分」に近づくことはできていますか。ぜひ学級で担任の先生と一緒に振り返ってみてください。

この終業式では、女の都小学校が目指す3つの児童像について振り返ります。目指す児童像とは、女の都小学校での学習を通してこんなふう to 育てほしいなという姿です。

一つ目は、「めあてを立ててすすんで学ぶ子」です。これは、自分でめあてを決めて、そのめあてに向かって、誰かにこうなさいと言われなくても、自分から進んで最後まで粘り強く頑張る子どもということです。これを女の都小学校での学習や生活でいうと、例えば、授業では進んで発表したり調べたりすることができたでしょうか。係の仕事を工夫しながら最後まで頑張ることができたでしょうか。

二つ目は、「のぞみをもってたくましく生きる子」です。これは、夢や希望、なりたい自分の姿をはっきりとをもって、苦しかったりきつかったりしてもあきらめず、なりたい自分になることができるように頑張る子どもということです。例えば、大きくなったら、こんな仕事をしたいなとかこんなことができるようになりたいなという夢はありますか。「なりたい自分」になるために、努力をしているでしょうか。

三つめは、「友だちとみがき合う思いやりのある子」です。これは、美しいものを美しいと感じ、良いものや良いことを素直に認め、みんなのことを考え、思いやりの心をもって友だちや周りの人たちと接することができる子どもということです。例えば、おうちの人や先生のお話を素直に聞いていますか。困っている友達や悲しそうなお友達がいたら優しく声をかけているでしょうか。

1学期の終わりに、女の都小学校がめざす子どもの姿を確認し、振り返ってみました。

さあ、いよいよ明日からは夏休みになります。早速明日は、女の都小学校の運動場で夏祭りが行われます。夏祭りに来る人も多いのではないのでしょうか。地域の人たちに会ったらぜひ大きな声であいさつをしてください。特にお世話になっている交通指導員の方や放課後子ども教室の先生方、そして日頃から皆さんを守ってくださっている近所の方々にはお礼の気持ちもこめて挨拶をしましょう。

女の都小学校のスローガンは、「それぞれの笑顔 みんなでもっとにこにこ 女の都小」です。夏休みの間も事件や事故に遭わないように気をつけて、8月9日の登校日、そして9月1日の第2学期始業式にみんなのにこにこ笑顔をそろえましょう。

